

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療機関行政情報システム改善事業費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度～	担当課室	指導課	課長:井上誠一			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-4 医療安全確保対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	医療法第25条	関係する計画、通知等	・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について ・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療法第25条の規定に基づく立入検査の実施を通して、地域における適切かつ効率的な医療の提供体制を整備し、医療の質の向上を図るため、立入検査結果データの集積を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県等からの報告データの集積システムを構築することにより、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査(医療機関が医療法等関連法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否か等について検査)の結果について迅速かつ正確に報告・集計するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	15	16	9	12	13
		補正予算					
		繰越し等					
		計	15	16	9	12	13
		執行額	13	14	6		
	執行率(%)	86.7%	87.5%	66.7%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	病院の立入検査結果データを集積する事業であるため、アウトカムとしての定量的な成果目標の設定は困難	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	病院の立入検査における検査項目に対する遵守率	活動実績(当初見込み)	%	97.8	集計中 (前年度以上)	集計中 (前年度以上)	— (前年度以上)
単位当たりコスト	1,449(円/施設)	算出根拠	(24'予算)(21'立入検査実施施設数) 11,900千円 ÷ 8,214施設 = 1,449円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	社会保障関係情報化業務庁費	12	13	アプリケーションソフトウェアの更新(Microsoft Access 2003 → Microsoft Access 2010)のための設計・開発経費の増。			
	(端末機保守料)	(0.1)	(-)				
	(システム運営費)	(5.9)	(5.9)				
	(システム改善費)	(5.9)	(7.1)				
	計	12	13				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査の実施及び結果の公表は、国民のニーズを踏まえたものではないが、良質な医療の提供や病院の実態を把握する上で有効である。 ・都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を集積・分析・公表するので、国が実施することが適当である。 ・23年度のシステム改善については、24年度のシステム改善と一緒に実施する計画に見直したことから、23年度の改善費は不用となった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の選定は、一般競争入札を実施することで競争性を確保している。 ・24年度予算には新規OSの追加経費が含まれており、単位あたりコストの削減は難しいが、システム開発時は一般競争入札により削減に努めており、妥当な水準と考える。 ・システムを運用するための保守・開発経費のみの支出であり、真に必要なものに限定している。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を国が集積・分析・公表を行うことは、一定の集約化が図られ、全国の状況を把握できる点で大変有効であり、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。 ・都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果については、国が毎年度公表するほか、都道府県等が他の都道府県等の立入検査の状況を把握する上で有効であり、医療機関における立入検査項目の遵守に繋がっていると考える。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	立入検査結果データの集積・分析方法の改善等を検討し、国民が求める情報の公表に努める必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	医療機関行政情報システム改善事業費については、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査結果について迅速かつ正確に報告・集計するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	本事業の趣旨を踏まえ、引き続き効率的な執行に努めたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	118	平成23年行政事業レビュー	0098

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
6百万円



(一般競争入札)

A. ゼッタテクノロジー株式会社
6百万円

【事業内容】

都道府県等から報告される医療法第25条に基づく医療機関への立入検査結果について、迅速かつ正確に報告・集計するシステムを構築するものである。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.ゼッタテクノロジー(株)		
費目	使途	金額 (百万円)
役務費	医療機関行政情報システム運用支援	6
計		6

E.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

B.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

F.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

C.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

D.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

H.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ゼッタテクノロジー(株)	医療機関行政情報システム運用支援	6	2	97%